

所沢バッハ ・アカデミー

第34回定期演奏会
音楽の喜びを共に



ソーシャルディスタンスコンサート

出演者

指揮	牧野 成史
ソプラノ	石原 千歳
メゾ・ソプラノ	中野 由弥
テノール	西山 詩苑
バリトン	井口 和彦
バリトン	小関 基宏

合唱：所沢バッハ・アカデミー

管弦楽：バッハ・アカデミー管弦楽団

オルガン：笠原仁美

2021/8/15 (日)

13:15(開場)/13:45(開演)

13:35より指揮者のプレトークあり

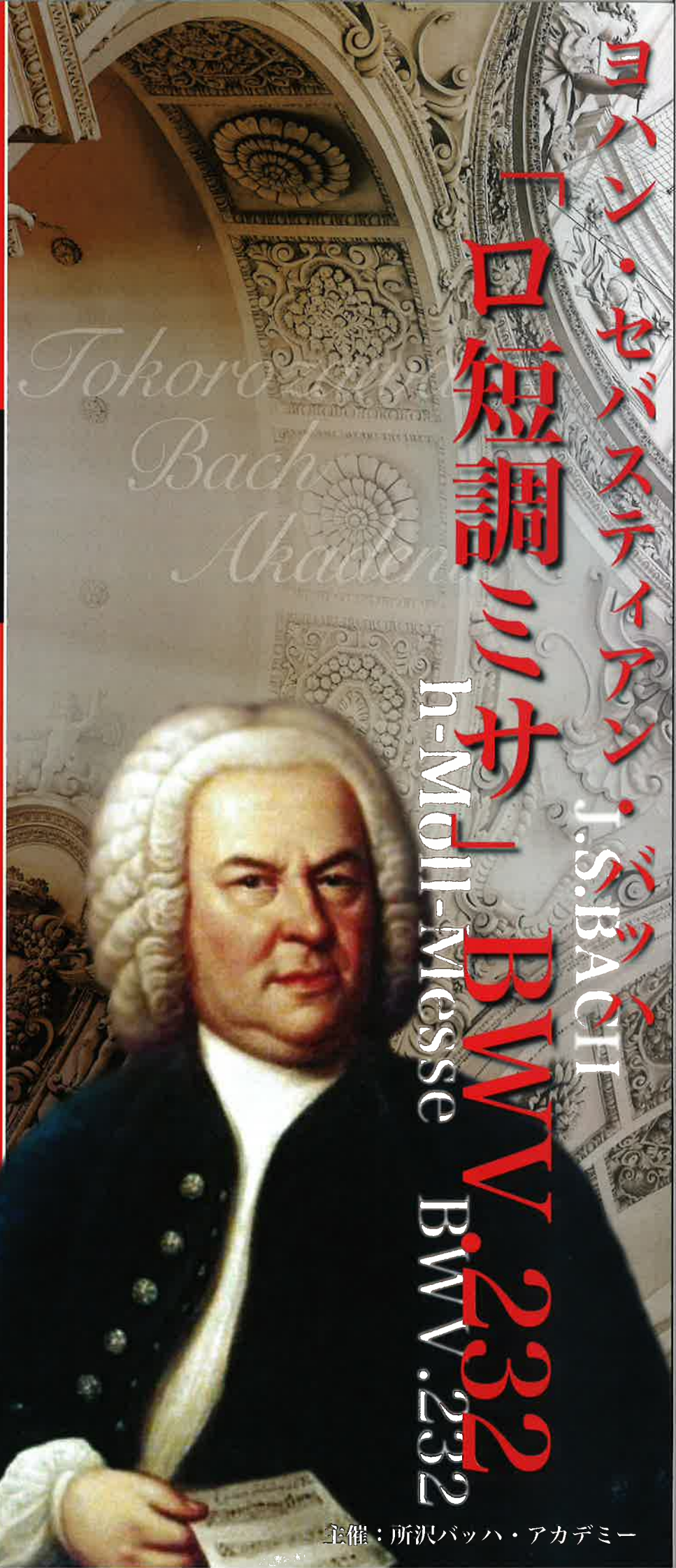
小金井 宮地楽器ホール 大ホール

JR中央線「武蔵小金井駅」南口前

入場料:2,900円(全席自由)



チケットのお求めは
小金井 宮地楽器ホール2F事務所内
チケットデスク (窓口のみ)
〈お問い合わせ先〉
アカデミー事務局 042-315-4482



ヨハン・セバスティアン・
「短調ミサ」

h-Moll-Messe BWV.232

J.S. BACH

第34回定期演奏会 音楽の喜びを共に

TOKOROZAWA
BACH
AKADEMIE

ご挨拶 所沢バッハ・アカデミー音楽監督 牧野成史

コロナウイルスが瞬時に地球上に広がり、世界中の人々が感染におびえるようになり一年半の年月がたちました。音楽、特に歌唱を伴う活動は多大な制限を受けてきました。現在も活動停止中の合唱団や、解散を余儀なくされた合唱団も多くあり、そのような状況でありながら、昨年の12月に続き、今回の定期演奏会を開催する運びとなりました。公演を開催できるのはお客さまがいらして下さるからであり、合唱団一同心からの感謝を申し上げます。

音楽は決して不要不急ではありません。人々の心に響き、勇気や安らぎ、幸福感を与えてくれるものであり、このような状況の時こそ大切にされるべきものだと私は信じています。

今回取り上げるバッハの短調ミサは、研究者を悩ませ、今でも論議的となる傑作です。1817年、スイスの音楽評論家ネーゲリは、短調ミサについて『あらゆる時代と民族の最も偉大な芸術作品』と最大級の賛辞を呈しています。当団がこの曲を演奏するのは12年ぶり、2度目となります。

このコンサートがお客さまの心に届き、癒やすことができましたら、私どもはとても嬉しく思います。



指揮 牧野 成史 まきの せいじ

宗教音楽家・オペラ歌手としてドイツ・オーストリアで20年近く活躍。武蔵野音楽大学、ザルツブルグ・モーツァルト音楽大学を経てスイス・バーゼル音楽大学を首席で卒業、声楽および室内楽の国家演奏家資格を取得。声楽をクルト・ヴィドマー、エリザベート・シュヴァルツコップ、宗教音楽をエルンスト・ヒンライナー、モーツァルト演奏法をアントン・ダヴィードヴィッチ、指揮をヤーノシュ・ツィフラ、各氏に師事。ザルツブルグ大聖堂首席ソリストを長く勤め、ミサ曲・オラトリオに広いレパートリーを持つ。またハンブルク国立劇場と専属・客演契約するなど数多くのオペラに出演。94年から指揮者活動を開始、ザルツブルグ大聖堂・同フランスカーナ教会で多数客演し、帰邦してからは所沢・横浜両アカデミーで多くのオラトリオ・ミサ曲を演奏。日本で知られていない楽曲の紹介にも積極的で、ギルマン・オルガン交響曲、ラインベルガー・オルガン協奏曲第1番、ミヒャエル・ハイドン・ヴァイオリン協奏曲(MH207)、ヨーゼフ・メスナーの作品群を日本初演、活動が評価され、国際ヨーゼフ・メスナー協会(奥)の特別会員に迎えられた。ウィーン古典派は得意分野であり、先日ハイドンミサ曲全曲演奏を完了した。現在、ザルツブルグ・フランスカーナ教会客員指揮者。聖グレゴリオの家宗教音楽研究所講師。ポーランド・オポーレ司教管区教会音楽学校 合唱指揮科客員教授。

所沢バッハ・アカデミー

帰邦した牧野成史(ザルツブルグ大聖堂専属ソリスト・同客演指揮者)を中心に1997年に設立された演奏・研究団体(所沢バッハアカデミー)の合唱団。約30人の混声合唱。音楽監督の牧野成史が自ら常任指揮として指導し高い演奏技術を維持している。また小川素子(ザルツブルグフランスカーナ教会専属ソリスト)を発声指導に引き個々のレベルも高い。バッハだけでなくモーツァルト、ハイドンで定評があり、レパートリーはヘンデル、ベートーヴェン、シューベルト、メンデルスゾーン、ブラームスと幅広い。2007年2月にペーター・シュライヤー指揮のアンサンブル金沢東京公演(サントリー・ホール)でモーツァルトレクイエムを演奏し脚光を浴びた。当初同アカデミーは合唱団のみの組織での発足し、現在はほかに管弦楽団、音楽教室(声楽、等)、事務局で構成され幅広く活動している。

バッハ・アカデミー管弦楽団

1999年所沢バッハ・アカデミー(音楽監督・常任指揮者牧野成史氏)の定期演奏会を機にスペシャリストをそろえ本格的な活動を開始。毎回高度な演奏を提供している。特に宗教曲など合唱ならびに声楽との演奏経験が豊富なメンバーは在京オーケストラのトップ奏者およびソリストから構成されている。合唱団との共演に加えて、教会音楽に関するジャンルでの試みも注目されている。ギルマン作曲「オルガン交響曲第1番」、ラインベルガー「オルガン協奏曲第1番」を日本初演。



ソプラノ
石原 千歳
いしはら ちとせ

愛知県岡崎市出身。'97名古屋音楽大学声楽科首席卒業、同大学院修了。'97-'98全日本学生音楽コンクール名古屋大会第2位入賞。'00J-VIC日本声楽器楽コンクール全国大会特別賞受賞。鎌倉、所沢、横浜、名古屋、岡崎などで主に宗教曲のソリストとして活躍するほか、多数のコンサートに出演。岡崎市にて3回のソロリサイタル開催。オーストリア、カナダ、ハワイにてコンサート出演。



メゾ・ソプラノ
中野 由弥
なかの ゆみ

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。在学時にモーツァルト作曲「コン・ファン・トゥッテ」のドラバウラ役でオペラデビュー。その他多数のオペラに出演。また「第九」をはじめ、モーツァルト、ヴェルディ「レクイエム」等宗教曲のアルトソロをつとめる。その他合唱指導、ヴォイストレーナー等をつとめる。声楽を野本立人、故大國和子、寺谷千枝子、永井和子の各氏に師事。埼玉新演奏家連盟会員、東京JSバッハ合唱団研究員、東京カンタータ・コレギウムメンバー。



テノール
西山 詩苑
にしやま しおん

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。現在同大学大学院音楽研究科修士課程オペラ専攻に在籍平成28年度公認理法人音工研奨学生。第74回全日本学生音楽コンクール声楽部門大学の部東京大会2位受賞。これまでにオペラ(コジ・ファン・トゥッテ)フェルランド役、オペラ(輪舞曲)のタミーノ役を演じる。また朝日新聞社主催の第68回、第69回益大メサイアや、モーツァルト作曲(レクイエム)、ベートーヴェン作曲(第九)、ハイドン作曲(四季)、(天地創造)、サン＝サーンス作曲(クリスマスオラトリオ)などのテノールソリストを務める。声楽を小澤慎吾、望月哲也、福井敬の各氏に師事。



バリトン
井口 和彦
いぐち かずひこ

国立音楽大学声楽科卒業。声楽を蓮沼善文、小川雄二、クルト・ヴィドマーの各氏に師事。声楽・合唱指導法を牧野成史氏に師事。バッハの「ヨハネ受難曲」イエス役、テレマンの「マルコ受難曲」イエス役、モーツァルトの「戴冠式ミサ」「レクイエム」などのソリストとして多数のコンサートに出演、好評を博す。現在は、所沢バッハ・アカデミー、横浜モーツァルト・アカデミーの演奏アシスタントを務めている。



バリトン
小関 基宏
こせき もとひろ

国立音楽大学音楽学部声楽科卒業。主に教会音楽のソリスト、声楽アンサンブルでの演奏や教会オルガニストとしての奏楽を中心に活動。モーツァルト「ミサ・プレヴィス二長調」「大ミサ曲ハ短調」、ハイドン「スターバト・マーテル」、フォーレ「レクイエム」、バッハ「マタイ受難曲」等のソリストを務める。教育音楽学会理事、日本聖公会聖マルコ教会オルガニスト、日本オルガン研究会会員、MBC室内合唱団ヴォイストレーナー。

合唱団員募集

熱心な方ならどなたでも歓迎いたします
詳しくは下記までお問い合わせください

TEL 042-315-4482

練習日 木曜日18時から

練習曲 ブラームス

「ドイツレクイエム」室内楽伴奏版

(2022年演奏会予定曲)